

総務



浦安市消防本部・消防署設立 50周年記念・まとい

1 浦安消防のあゆみ

- 明治 22 年 6 月 28 日 浦安村防火条例施行。全部落（3 部落）に防火取締り（後の小頭）と防火夫を置いて消防活動に従事するようになった。
当時の出火原因は、わら灰によるものが多く、防火条例で毎年11月 1 日から翌年 3 月31日までわらを燃料として使用することを禁止し、火災の予防に努めた。
- 明治 27 年 2 月 10 日 浦安村消防組設置。全村を第 1 部、第 2 部及び第 3 部の 3 つに区分し、各部に部長 1 名を置いて部内を統率させ、組頭が消防組全体を指揮した。また同年、消防の機械化を図るため小型腕用ポンプを購入し、各部に配置した。その後、明治43年には組員が300名に増員し、大正 4 年には組員500名に増員した。
- 明治 42 年 9 月 1 日 町制を施行し、浦安町となった。（浦安町消防組となった。）
- 大正 10 年 4 月 浦安町屋根改葺貯金組合を各部落毎に組織し、積極的に瓦又はトタン屋根に葺きかえて火災の予防に努めた。
- 昭和 14 年 4 月 1 日 警防団令施行と同時に、消防組と自主的に設置されていた防護団を統合し、警防団に改組。全町を 3 分団に分け、堀江部落を第 1 分団、猫実部落を第 2 分団、当代島部落を第 3 分団とした。団員数371名。
- 昭和 19 年 10 月 警防団本部（浦安町役場内）と第 1 分団詰所及び第 2 分団詰所の間に直通電話を架設し、続いて翌20年に第 3 分団詰所との間にも直通電話を架設した。当時としては、他市町村に例をみない機械化及び通信施設の充実を図った。
- 昭和 22 年 7 月 28 日 消防団令施行により、警防団を消防団と改称した。
- 昭和 22 年 8 月 1 日 初代吉村利男消防団長就任。
- 昭和 23 年 8 月 10 日 浦安町消防団員服務規律及び懲戒条例制定。
- 昭和 23 年 8 月 24 日 浦安町引火取締条例、浦安町公衆集合所火災災害予防条例制定。以後、火災予防にますます重点がおかれ、予防査察、危険物の規制等、町ぐるみの防火体制の確立に努めた。
このころから冬期の夜間路上における喫煙を自粛しようという運動が高まり、昭和25年頃からは、浦安町火防期間（毎年11月15日から翌年 4 月15日まで）の運動として、日没から夜明けまで全町内路上での喫煙を禁止する運動を強力に展開し、本町の伝統として今日でも固く守られている。全国でもユニークな運動として、積極的に広報活動をしている。
- 昭和 24 年 8 月 31 日 キティ台風により、堤防が決壊し、被害甚大となり、災害救助法の適用を受けた。消防団は、全員出動し、風雨もいとわず、堤防の危険箇所の防護、避難誘導及びり災者の救助に当たった。被災後は、堤防の復旧作業に従事し、約50日間延べ4,000人に及ぶ消防団員の活動が町民に感謝された。
- 昭和 25 年 3 月 7 日 キティ台風襲来の際、水防及びり災者の救助に尽力した功により、千葉県知事から消防団に功労竿頭綬が授与された。
- 昭和 25 年 4 月 1 日 第 2 代臼倉甚吉消防団長就任。
- 昭和 25 年 5 月 10 日 大型ポンプ自動車を購入。第 2 分団へ配置した。

昭和 25 年 8 月 15 日 第 1 分団詰所、亜鉛葺木造 2 階建て（一部鉄筋コンクリート造）改築。当時から全分団で常駐の使丁を採用し、火災の受信、詰所の維持管理、通知状の配達等、分団業務の円滑化を図った。

昭和 25 年 10 月 16 日 東京消防庁と消防相互応援協定締結。

昭和 26 年 3 月 7 日 千葉県知事から、成績優秀につき、消防団に優良竿頭綬が授与された。

昭和 26 年 4 月 1 日 第 3 代宇田川謹二消防団長就任。

昭和 27 年 3 月 7 日 千葉県消防協会長から、日夜練習を重ね、町民の生命財産の保護に寄与した功績を認められ、消防団に表彰旗が授与された。

昭和 27 年 11 月 15 日 普通消防ポンプ自動車購入。第 3 分団に配置した。

昭和 28 年 6 月 1 日 第 4 代宇田川國松消防団長就任。

昭和 29 年 3 月 7 日 千葉県知事から、消防設備及び訓練優秀につき、消防団に功労表彰旗が授与された。

昭和 29 年 12 月 1 日 普通消防ポンプ自動車購入。第 1 分団に配置した。

昭和 30 年 1 月 12 日 第 2 分団詰所を県道沿いの最も利便のよい猫実 454 番地に移転新築。

昭和 30 年 3 月 7 日 県下において消防機械及び器具が最も充実し、団員の訓練も優れていることから、千葉県知事から消防団に表彰旗が授与された。

昭和 31 年 9 月 10 日 腕用ポンプを廃止。小型可搬動力ポンプ 3 台を購入し、各分団へ配置した。密集化する市街地火災に対処するとともに、当時から河川、用水等の自然水利が減少したことにより、市街地各所に道路地下式の貯水槽（40m³級）を増設した。

昭和 31 年 11 月 10 日 市川市と消防相互応援協定締結。

昭和 32 年 3 月 7 日 消防庁長官から、総合消防力優秀につき、消防団に竿頭綬が授与された。

昭和 33 年 6 月 1 日 第 5 代長野寅吉消防団長就任。

昭和 35 年 3 月 15 日 第 3 分団詰所を当代島 425 番地の県道沿いに移転新築（亜鉛葺コンクリートブロック造平家建て延べ 98.2m²）。

昭和 38 年 2 月 11 日 日本消防協会長から、成績優秀につき、消防団に竿頭綬が授与された。

昭和 41 年 4 月 1 日 第 6 代泉沢正一郎消防団長就任。

昭和 41 年 5 月 28 日 浦安町役場消防協力隊を組織。

昭和 42 年 2 月 20 日 日本消防協会長から、消防設備及び訓練優秀につき、消防団に表彰旗が授与された。

昭和 43 年 3 月 10 日 第 1 分団詰所を堀江 200 番地へ移転新築（軽量鉄骨木造モルタル 2 階建て延べ 118.44m²）。

昭和 43 年 4 月 1 日 危険物取扱事業所等 27 会員をもって浦安町危険物安全協会を設立。

昭和 45 年 4 月 1 日 第 7 代宇田川喜作消防団長就任。

昭和 46 年 9 月 9 日 消防用超短波無線電話装置購入。基地局を消防団本部（浦安町役場内）に設置。各分団ポンプ自動車（6 台）に 5W 移動用を積載。消防団の機動力を図るとともに、役場において移動 2 局を管理。水火災の活動の万全を期した。消防団員数 188 名。

昭和 47 年 4 月 1 日 役場管理の無線付車両（ライトバン）を改造。役場職員による救急患者の搬送業務（24 時間体制）を開始。

- 昭和 47 年 7 月 25 日 県下有数の人口密度を有し、ますます過密化する現場に対応するため、浦安町消火器貸与に関する規則を制定。火災時における初期消火対策及び予想される大地震対策の一環として、A B C 粉末10型消火器を7,400本購入。共同住宅、一戸建住宅を問わず町内全世帯に無償で貸し出し、本町の防災対策の充実を図った。
- 昭和 47 年 12 月 11 日 超短波無線電話装置付救急車（2 B 型）を購入。救急隊発足の準備を進めた。
- 昭和 48 年 2 月 10 日 災害に強い町づくりを目ざす本町は、大地震及び高潮等災害時の迅速な情報伝達システムとして無線放送塔を町内13か所に設置（千葉県下初の施設）。全町内をカバーする防災広報無線装置が完成した。平常時は、一般消防業務及び行政業務の広報を行う。
- 昭和 48 年 3 月 1 日 浦安町海楽1番地（現：浦安市猫実一丁目19番22号）に浦安町消防庁舎竣工（鉄骨造2階建て延べ969㎡、敷地3,000㎡）。
- 昭和 48 年 3 月 7 日 浦安町役場消防協力隊が、長年の消防団への協力に対し、千葉県知事表彰（消防関係機関）を受けた。
- 昭和 48 年 3 月 12 日 浦安町救急隊発足。本格的救急業務を開始（救急隊員10名）。消防本部・消防署設置の準備を進めた。
- 昭和 48 年 3 月 31 日 日本自動車工業会から、救急自動車（2 B 型）の寄贈を受けた。
- 昭和 49 年 3 月 30 日 水槽付消防ポンプ自動車購入。
- 昭和 49 年 4 月 1 日 政令指定により、東葛飾郡浦安町消防本部・消防署設置。初代熊川好生町長消防長事務取扱就任。水槽付消防ポンプ自動車1台、普通消防ポンプ自動車1台、救急車2台で発足。
- 昭和 49 年 6 月 29 日 救急業務政令指定。
- 昭和 50 年 3 月 10 日 第3分団詰所を新築（鉄筋コンクリート造3階建て延べ412㎡）。近年急激な発展を続ける同地域の防災上の重要な拠点として、工事費71,000,000円を投じた。
- 昭和 50 年 8 月 11 日 災害に強い町づくりを推進するため、全世帯消火器無償貸与事業及び防災用広報無線設置事業に続き、大地震対策に備え防災袋を全町9,200世帯に無料配布した。防災袋には、非常持出しセット（非常用飲料水、非常食、食器、応急薬品、保安衛生用品、ロープ等36点）及び避難場所、避難路を示す地図等が添えてある。消防水利については、消火栓の増設に加え、毎年3基の貯水槽（道路地下式を主に有蓋40㎡～90㎡）を増設しており、市街地内には、消火栓207か所及び貯水槽40か所（充足率90%）を有している。
- 昭和 50 年 10 月 7 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
- 昭和 51 年 3 月 4 日 消防庁長官から、災害の防除と消防力の強化に努め、その成績が特に優秀であるため、消防団に表彰旗が授与された。
- 昭和 51 年 3 月 10 日 第2分団詰所を新築（鉄筋コンクリート造2階建て延べ212㎡）。住宅密集地である同地域の防災上の拠点として、工事費37,500,000円を投じた。
- 昭和 51 年 7 月 11 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。

昭和 51 年 7 月 14 日 南関東地域地震災害警備訓練が浦安町で行われ、自衛隊、県警本部、市川警察署、千葉中央警察署、浦安町及び住民約2,000人が参加した。

昭和 51 年 11 月 15 日 災害用浄水車購入。

昭和 52 年 1 月 31 日 38m級はしご付消防ポンプ自動車購入。中高層建築物の急増に伴い、これらの災害に備えた。

昭和 52 年 2 月 28 日 堀江1370番地の5に第1分団詰所を移転新築（鉄筋コンクリート造3階建て延べ439㎡）。埋立地内の住宅開発地域及び密集市街地を有する同地域の防災上の重要な拠点として工事費55,500,000円を投じた。

昭和 52 年 7 月 5 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

昭和 52 年 8 月 31 日 常備用普通消防ポンプ自動車購入。消防力の強化を図った。

昭和 52 年 11 月 8 日 同年6月に出場中の消防車が横転するという事故があったため、各分団の第3自動車をダブルシート型で最新のシャーシを採用した小型動力ポンプ付積載車へ更新した。

昭和 53 年 3 月 20 日 救急及び災害活動の適確かつ迅速な指令を行うため、救急指令装置を整備した。

昭和 53 年 3 月 30 日 救急自動車（2B型）購入（更新）。

昭和 53 年 8 月 22 日 普通消防ポンプ自動車購入。第1分団へ配置した。

昭和 53 年 12 月 19 日 内山コンクリート株式会社から、救急自動車（2B型）の寄贈を受けた。

昭和 54 年 2 月 15 日 救急自動車（2B型）購入（更新）。

昭和 54 年 2 月 28 日 消防庁舎を増築。（延べ279㎡を増築し、延べ1,248㎡となる。）
消防署今川出張所竣工（鉄筋コンクリート造2階建て一部平家延べ592㎡）。

昭和 54 年 3 月 15 日 常備用普通消防ポンプ自動車購入。消防署へ配置した。

昭和 54 年 3 月 27 日 複雑多様化する災害に対応するため、常備用救助工作車を新たに整備した。消防署へ配置。

昭和 54 年 4 月 1 日 救助隊発足。
消防署今川出張所が、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、署員14名をもって発足。

昭和 54 年 5 月 28 日 指令車購入。消防署へ配置した。

昭和 54 年 9 月 8 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

昭和 54 年 10 月 31 日 千葉県防災総合訓練が浦安町で行われ、千葉県、浦安町、千葉県警察本部、同消防協会、浦安町消防本部、同消防団、日本赤十字社千葉県支部、浦安町地区赤十字奉仕団、同自治会連合会、同婦人の会連合会、浦安町・市川市組合立葛南病院、市川市医師会浦安支部、市川電報電話局、東京電力千葉支店、京葉瓦斯、帝都高速度交通営団、銚子地方気象台、千葉海上保安部、陸上自衛隊、海上自衛隊及びオリエンタルランド交通の21団体、約2,500人が参加した。

昭和 54 年 11 月 14 日 水槽付消防ポンプ自動車購入。今川出張所に配置し、この地域における消防強化を図った。

昭和 55 年 3 月 31 日 急増する救急業務の迅速化を図るため、救急無線の復信化を行った。

昭和 55 年 4 月 1 日 第2代石井寛消防長就任。

昭和 55 年 7 月 23 日 第16回千葉県消防操法大会において、第3分団がポンプ自動車の部で3位に入賞した。

昭和 55 年 9 月 8 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。

昭和 56 年 1 月 9 日 常備用化学消防ポンプ自動車購入。今川出張所へ配置した。

昭和 56 年 1 月 24 日 気象観測用機器を整備した。

昭和 56 年 2 月 28 日 消防・救急各種災害活動の適正化を図るため、緊急情報現示システムを導入した。

昭和 56 年 4 月 1 日 市制を施行し、浦安市となる。（浦安市消防本部・消防署及び浦安市消防団となる。）

昭和 56 年 9 月 10 日 財団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車火災保険号の寄贈を受けた。消防署へ配置した。

昭和 57 年 4 月 1 日 第3代熊川好生市長消防長事務取扱就任。

昭和 57 年 9 月 7 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。

昭和 57 年 10 月 6 日 第1回東葛飾支部消防操法大会が松戸市金ヶ作公園にて開催され、第1分団が出場。

昭和 58 年 3 月 22 日 千葉県防災行政無線設備設置。

昭和 58 年 9 月 7 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。

昭和 58 年 9 月 27 日 第2回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場駐車場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。

昭和 58 年 10 月 5 日 第18回千葉県消防操法大会ポンプ自動車の部に第2分団が出場。

昭和 59 年 3 月 30 日 新たにA B C粉末20型背負型消火器を126本購入。各自治会に貸与し、防災対策の充実を図った。

昭和 59 年 7 月 11 日 第3回東葛飾支部消防操法大会が中山競馬場駐車場にて開催され、第3分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。

昭和 59 年 7 月 24 日 第20回千葉県消防操法大会ポンプ自動車の部に第3分団が出場。

昭和 59 年 9 月 11 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

昭和 59 年 11 月 1 日 救急自動車（2 B型）購入（更新）。

昭和 59 年 12 月 25 日 第4代内田平輔消防長就任。

昭和 60 年 7 月 10 日 第4回東葛飾支部消防操法大会が柏市新十余二第1公園にて開催され、第1分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

昭和 60 年 9 月 10 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。

昭和 60 年 11 月 15 日 査察広報車購入。

昭和 60 年 12 月 4 日 救急自動車（2 B型）2台購入（更新）。

昭和 60 年 12 月 24 日 小型動力ポンプ付積載車3台購入（更新）。第1、第2及び第3分団へ配置した。

昭和 61 年 4 月 1 日 第8代高梨喜好消防団長就任。

昭和 61 年 7 月 9 日 第5回東葛飾支部消防操法大会が松戸市松戸競輪場駐車場にて開催され、第2分団が出場。

昭和 61 年 9 月 4 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

昭和 62 年 1 月 26 日 水槽付消防ポンプ自動車購入（更新）。

昭和 62 年 6 月 12 日 人員輸送用29人乗りマイクロバス購入。

昭和 62 年 7 月 8 日 第 6 回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場駐車場にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。

昭和 62 年 7 月 23 日 第23回千葉県消防操法大会において、第 3 分団がポンプ自動車の部で 3 位に入賞した。

昭和 62 年 9 月 29 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

昭和 62 年 11 月 16 日 資機材搬送用軽自動車 3 台購入。第 1、第 2 及び第 3 分団へ配置した。

昭和 63 年 2 月 24 日 堀江出張所へ配属予定の救急自動車（2 B 型）購入。

昭和 63 年 3 月 20 日 消防署堀江出張所竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建て延べ443㎡）。

昭和 63 年 4 月 1 日 旧市街地の消防力の充実・強化のため、消防署堀江出張所発足（消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台、署員18名）。

昭和 63 年 7 月 6 日 第 7 回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防訓練場にて開催され、第 1 分団が出場。

昭和 63 年 12 月 12 日 常備用普通消防ポンプ自動車購入。堀江出張所へ配置した。

昭和 63 年 12 月 20 日 今川出張所を増築。（延べ31㎡を増築。延べ623㎡となる。）

平成 元 年 3 月 9 日 株式会社オリエンタルランドから38m級はしご付消防自動車の寄贈を受ける。今川出張所へ配置した。

平成 元 年 7 月 12 日 第 8 回東葛飾支部消防操法大会が柏市南部運動場にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 元 年 7 月 19 日 小型動力ポンプ購入。本署へ配置した。

平成 元 年 7 月 25 日 第25回千葉県消防操法大会において、第 2 分団がポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 元 年 7 月 26 日 資機材運搬用トラック購入。消防署へ配置した。

平成 元 年 8 月 1 日 指令車購入。消防署へ配置した。

平成 2 年 2 月 2 日 旧市街地の狭あいな道路事情に対応するため、軽四輪小型動力ポンプ付積載車購入。堀江出張所へ配置した。

平成 2 年 3 月 12 日 救急自動車（2 B 型）購入（更新）。

平成 2 年 7 月 3 日 浦安市消防音楽隊発足に向け練習を開始した。

平成 2 年 7 月 11 日 第 9 回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ自動車の部で 3 位に入賞した。

平成 2 年 9 月 10 日 小型動力ポンプ購入。今川出張所へ配置した。

平成 2 年 11 月 14 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 分団へ配置した。

平成 2 年 12 月 7 日 災害現場での指揮命令伝達・無線交信の円滑化を図るため、指揮統制車購入。消防署へ配置した。

平成 2 年 12 月 12 日 救急自動車（2 B 型）2 台購入（更新）。

平成 3 年 3 月 15 日 救助工作車購入（更新）。

平成 3 年 7 月 10 日 第10回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場古作駐車場にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 3 年 7 月 23 日 第27回千葉県消防操法大会において、ポンプ自動車の部に第 1 分団が出場。

平成 3 年 8 月 20 日 小型動力ポンプ購入。堀江出張所へ配置した。

平成 3 年 8 月 23 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

平成 3 年 8 月 30 日 査察広報車購入（更新）。

平成 4 年 4 月 1 日 浦安市消防音楽隊を隊長以下25名で発足。

平成 4 年 7 月 8 日 第11回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防訓練場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ自動車の部で3位に入賞した。

平成 4 年 9 月 30 日 社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車火災保険号の寄贈を受けた。消防署へ配置した。

平成 4 年 11 月 11 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

平成 5 年 4 月 1 日 消防本部組織改正により、消防課の1課制を総務課・消防課の2課制に改めた。

平成 5 年 7 月 7 日 第12回東葛飾支部消防操法大会が柏市南部運動場にて開催され、第3分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。

平成 5 年 7 月 27 日 第29回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第3分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 5 年 8 月 30 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。

平成 5 年 10 月 13 日 第5代鈴木雅久消防長就任。

平成 6 年 2 月 10 日 救急自動車（2B型）購入（更新）。

平成 6 年 3 月 15 日 化学消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 6 年 3 月 17 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

平成 6 年 7 月 6 日 第13回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、第1分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 6 年 7 月 26 日 第30回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第1分団が出場。ポンプ車の部で初の優勝を遂げた。

平成 6 年 9 月 9 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。

平成 6 年 11 月 11 日 初の救急救命士が誕生した。

平成 7 年 3 月 10 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 7 年 3 月 17 日 高規格救急自動車購入。

平成 7 年 3 月 22 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。

平成 7 年 4 月 1 日 消防本部組織改正により、総務課・消防課の2課制を総務課・予防課・警防課の3課制に改めた。

平成 7 年 6 月 26 日 消防庁舎増築のうち、増築棟（軽量鉄骨造2階建て延べ977㎡）のみ使用開始した。

平成 7 年 7 月 12 日 第14回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場古作駐車場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 7 年 7 月 25 日 第31回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 7 年 8 月 23 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。

平成 7 年 8 月 31 日 消防庁舎増築棟の全てが竣工。（延べ2,225㎡となる。）

平成 7 年 9 月 1 日 第16回七都県市合同防災訓練中央会場訓練が千葉県と浦安市の共催で行われ、256機関、約18,000人が参加した。

平成 7 年 9 月 13 日 消防専用駐車場等の整備が竣工。

平成 8 年 2 月 19 日 救急自動車（2B型）購入（更新）。

平成 8 年 2 月 29 日 38m級はしご付消防自動車購入（更新）。

平成 8 年 3 月 12 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。

平成 8 年 3 月 12 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 分団へ配置した。

平成 8 年 7 月 12 日 第15回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防訓練場にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 8 年 7 月 23 日 第32回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で 3 位に入賞した。

平成 8 年 7 月 30 日 震災対策として、小型動力ポンプ購入。消防署、今川出張所及び堀江出張所へ配置した。

平成 8 年 10 月 1 日 消防組織法改正により、浦安市消防本部消防職員委員会を設置した。

平成 8 年 11 月 7 日 産経新聞社主催の第27回千葉県民の消防員で、浦安市消防本部及び浦安市消防団が団体表彰を受賞した。

平成 9 年 7 月 9 日 第16回東葛飾支部消防操法大会が柏市正連寺運動広場にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 9 年 7 月 29 日 第33回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 9 年 8 月 5 日 防火指導車購入。

平成 9 年 11 月 5 日 人員輸送車購入（更新）。

平成 9 年 12 月 25 日 査察広報車購入（更新）。

平成 10 年 3 月 31 日 消防庁舎耐震改修工事が竣工。

平成 10 年 7 月 8 日 第17回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 10 年 7 月 14 日 資機材搬送車購入（更新）。

平成 10 年 7 月 22 日 第34回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 11 年 7 月 7 日 第18回東葛飾支部消防操法大会が野田市利根川河川敷スポーツ公園にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で 3 位に入賞した。

平成 12 年 3 月 24 日 高規格救急自動車購入。

平成 12 年 4 月 1 日 危険物事業所等に加え、大規模防火対象物の防火管理体制の充実・強化を図るため、浦安市危険物安全協会を浦安市防火安全協会に改組した（会員数79事業所）。

平成 12 年 7 月 5 日 第19回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場古作駐車場にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 12 年 8 月 1 日 第36回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 13 年 2 月 10 日 消防署訓練塔改築完成（鉄骨造 3 階建て延べ309㎡）。

平成 13 年 3 月 16 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 13 年 4 月 1 日 第 6 代市山克己消防長就任。

平成 13 年 7 月 1 日 第20回東葛飾支部消防操法大会が市制20周年の節目に、初の浦安会場として T D L 臨時駐車場にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 13 年 8 月 1 日 第37回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で 3 位に入賞した。

平成 13 年 10 月 2 日 査察広報車購入（更新）。

平成 14 年 3 月 14 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 分団へ配置した。

平成 14 年 3 月 27 日 平成13年度から消防庁において創設された表彰制度で、本市消防団の夜間路上禁煙運動への協力など、地域に密着した活動が認められ、消防庁長官から消防団地域活動表彰を受賞した。

平成 14 年 4 月 1 日 初の女性消防職員 1 名を採用する。

平成 14 年 7 月 7 日 第21回東葛飾支部消防操法大会が柏市大堀川防災レクリエーション公園にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 14 年 7 月 31 日 第38回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 3 分団が出場した。

平成 15 年 1 月 30 日 水槽付消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 15 年 2 月 19 日 15m級屈折はしご付消防自動車購入。

平成 15 年 3 月 10 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

平成 15 年 3 月 18 日 高規格救急自動車購入。

平成 15 年 3 月 20 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 15 年 4 月 1 日 第 7 代宇田川秀明消防長就任。

平成 15 年 5 月 1 日 第 4 救急隊運用開始（本署）。

平成 15 年 7 月 6 日 第22回東葛飾支部消防操法大会が松戸市訓練センターにて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 15 年 7 月 23 日 指揮車購入。

平成 15 年 7 月 30 日 第39回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 15 年 8 月 20 日 資機材搬送車購入（更新）。

平成 15 年 11 月 1 日 消防団本部付団員として、女性21名に辞令を交付。初の女性消防団員が誕生した。

平成 16 年 1 月 1 日 消防旗の制定。

平成 16 年 1 月 19 日 高規格救急自動車購入。

平成 16 年 3 月 18 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 2 分団へ配置した。

平成 16 年 7 月 4 日 第23回東葛飾支部消防操法大会が野田市利根川河川敷スポーツ公園にて開催され、第 2 分団が出場した。

平成 16 年 9 月 1 日 第25回八都県市合同防災訓練千葉県会場訓練が浦安市で開催された。

平成 17 年 3 月 11 日 高規格救急自動車購入（更新）。

平成 17 年 3 月 14 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 及び第 2 分団へ配置した。

平成 17 年 3 月 25 日 指揮統制車購入（更新）。

平成 17 年 4 月 1 日 第 8 代岩田高一消防長就任。

平成 17 年 5 月 30 日 市役所消防協力隊解散。

平成 17 年 6 月 27 日 資機材搬送車購入（更新）。第 1、第 2 及び第 3 分団へ配置した。

平成 17 年 7 月 10 日 第24回東葛飾支部消防操法大会が船橋市日本大学理工学部二和校グラウンドにて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。

平成 17 年 7 月 29 日 第41回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 3 分団が出場した。

平成 18 年 3 月 9 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

平成 18 年 3 月 13 日 救助工作車購入（更新）。

平成 18 年 4 月 1 日 第 9 代醍醐辰雄消防団長就任。

平成 18 年 6 月 28 日 自動体外式除細動器（A E D）を消防本部として、市内17か所の公共施設に設置を開始した。

平成 18 年 7 月 2 日 第25回東葛飾支部消防操法大会が我孫子市五本松運動公園にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。

平成 18 年 7 月 29 日 第42回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 19 年 3 月 23 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 19 年 3 月 31 日 水槽付消防ポンプ自動車 2 台購入（更新）。

平成 19 年 4 月 1 日 消防本部組織改正により、総務課・予防課・警防課の 3 課制を総務課・予防課・警防課・指令課の 4 課制に改めた。

平成 19 年 7 月 1 日 第26回東葛飾支部消防操法大会が浦安市オリエンタルランド職員駐車場にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 19 年 7 月 28 日 第43回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 19 年 9 月 28 日 人員輸送車購入（更新）。

平成 20 年 2 月 19 日 消防本部・署新庁舎棟竣工（鉄筋コンクリート造 4 階建て免震構造延べ5,264.67㎡）。

平成 20 年 2 月 25 日 消防本部・署新庁舎棟運用開始。高機能消防指令システム運用開始。

平成 20 年 3 月 14 日 高規格救急自動車購入（更新）。

平成 20 年 4 月 1 日 消防救急無線設備デジタル化の共同整備・管理の共同処理機関を千葉県市町村総合事務組合とした。

平成 20 年 6 月 29 日 第27回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防局訓練場にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。

平成 20 年 7 月 26 日 第44回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 3 分団が出場した。

平成 20 年 9 月 30 日 消防本部・署新庁舎訓練塔竣工。

平成 20 年 11 月 5 日 株式会社内山アドバンス及び山一興産株式会社から、高規格救急自動車の寄贈を受けた。消防署へ配置した。

平成 21 年 2 月 26 日 38m級はしご付消防自動車購入（更新）。

平成 21 年 3 月 18 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 2 分団へ配置した。

平成 21 年 7 月 5 日 第28回東葛飾支部消防操法大会が流山市総合公園にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 21 年 7 月 25 日 第45回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 21 年 10 月 22 日 第19回全国女性消防操法大会が横浜市日本消防協会中央消防訓練場にて優良賞（9 位）を受賞した。

平成 21 年 12 月 8 日 資機材搬送車購入（更新）。

平成 22 年 1 月 22 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

平成 22 年 3 月 17 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。
 平成 22 年 4 月 1 日 第 9 代山中勇消防長就任。
 平成 22 年 4 月 1 日 第10代平林清重消防団長就任。
 平成 22 年 6 月 27 日 第29回東葛飾支部消防操法大会が鎌ケ谷市陸上競技場にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
 平成 22 年 7 月 13 日 浦安市消防団協力事業所制度実施要綱を制定した。
 平成 22 年 7 月 24 日 第46回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
 平成 23 年 1 月 21 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 分団へ配置した。
 平成 23 年 3 月 11 日 東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）により、中町・新町地区をはじめ、市内86%の地域が液状化現象で甚大な被害を受けた。
 平成 23 年 3 月 23 日 高規格救急自動車購入（更新）。
 平成 23 年 4 月 1 日 松戸市ほか 5 市消防指令事務協議会が設置され、規約を制定した。
 平成 23 年 4 月 1 日 消防団本部付団員として、消防団経験者で構成された浦安市消防団支援隊が隊員58名で発足した。
 平成 23 年 6 月 1 日 第 5 救急隊運用開始（今川出張所にて消防ポンプ自動車との乗換え運用）。
 平成 23 年 10 月 26 日 東日本大震災に際し、不眠不休の消防活動を行ったことにより、本市消防本部が全国消防長会会長から表彰状を受賞した。
 平成 23 年 11 月 9 日 東日本大震災に際し、被災地域住民の被害の軽減に努めた活動を行ったことにより、本市消防本部及び消防団が総務大臣から表彰状を受賞した。
 平成 23 年 11 月 29 日 レスキューボート購入（更新）。
 平成 24 年 4 月 1 日 第10代川口利治消防長就任。
 平成 24 年 4 月 1 日 浦安市少年消防団が発足。
 平成 24 年 6 月 24 日 第31回東葛飾支部消防操法大会が柏市大堀川防災レクリエーション公園にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
 平成 24 年 7 月 1 日 第48回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優良賞を受賞した。
 平成 24 年 11 月 22 日 浦安中央ライオンズクラブから、連絡用車両の寄贈を受けた。今川出張所、堀江出張所に各 1 台を配置した。
 平成 25 年 1 月 25 日 査察広報車購入（更新）。
 平成 25 年 2 月 28 日 地域防災力の向上に貢献した消防団であることと、団員確保の功績が認められ、全国消防団等地域活動表彰を受賞した。
 平成 25 年 4 月 1 日 消防職員の条例定数を200名に改正し、実員177名で運用開始。
 平成 25 年 4 月 1 日 消防本部組織改正により、総務課・予防課・警防課・指令課の 4 課制を総務課・予防課・警防課の 3 課制に改めた。
 平成 25 年 4 月 1 日 千葉北西部消防指令センター運用開始（松戸市消防局内）。
 平成 25 年 4 月 1 日 消防救急デジタル無線による県域共同運用・管理を開始した。
 平成 25 年 4 月 9 日 119番緊急通報受信等の消防指令業務を千葉北西部消防指令センターへ切り替えた。
 平成 25 年 4 月 9 日 消防救急デジタル無線運用開始（常備・非常備）。

平成 25 年 6 月 30 日 第32回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 25 年 7 月 27 日 第49回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 25 年 10 月 17 日 第21回全国女性消防操法大会が横浜市消防訓練センターにて開催され優秀賞（6 位）を受賞した。

平成 26 年 1 月 24 日 ㈱ダイニチから、防火指導車の寄贈を受けた。

平成 26 年 2 月 28 日 日本消防協会長から、火災発生時の活動をはじめ、日々の訓練、少年消防団に対する指導及び東日本大震災における活動が認められ、消防団に表彰旗が授与された。

平成 26 年 3 月 20 日 大型水槽車購入。

平成 26 年 4 月 1 日 第11代大塚等消防長就任。

平成 26 年 6 月 22 日 第33回東葛飾支部消防操法大会が野田市総合公園自由大広場にて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 26 年 7 月 26 日 第50回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 26 年 10 月 14 日 消防署日の出張所竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建て延べ1,096㎡）。

平成 26 年 10 月 20 日 消防署日の出張所運用開始（水槽付消防ポンプ自動車 1 台、高規格救急車自動車1台、署員21名）。

平成 26 年 11 月 14 日 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会が舞浜アンフィシアター及び浦安市総合体育館で開催され、全国から約3,800人の女性消防団員が参加した。

平成 26 年 12 月 1 日 日の出連絡車購入。

平成 27 年 3 月 13 日 高規格救急自動車購入（更新）。

平成 27 年 6 月 10 日 防火指導車購入。

平成 27 年 6 月 27 日 第34回東葛飾支部消防操法大会が船橋市運動公園陸上競技場にて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 27 年 7 月 25 日 第51回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、出場した。

平成 27 年 12 月 11 日 高規格救急自動車購入（更新）。

平成 28 年 4 月 1 日 浦安市消防団第 2 期支援隊員 40 名を各分団に編成した。

平成 28 年 6 月 26 日 第35回東葛飾支部消防操法大会が我孫子市川村学園グラウンドにて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

平成 28 年 7 月 23 日 第52回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。

平成 28 年 8 月 1 日 松戸市ほか 9 市消防指令事務協議会が設立され、規約を制定した。

平成 28 年 12 月 21 日 水槽付消防ポンプ自動車購入（新規）。

平成 29 年 6 月 25 日 第36回東葛飾支部消防操法大会が浦安市運動公園陸上競技場にて開催され、ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。

平成 29 年 7 月 22 日 第53回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。

平成 29 年 11 月 9 日 高規格救急自動車購入（更新）。

平成 30 年 4 月 1 日 第12代宇田川智久消防長就任。
平成 30 年 4 月 1 日 第11代大川三敏消防団長就任。
平成 30 年 4 月 1 日 女性消防団員を消防団本部付から女性分団に組織再編した。
平成 30 年 6 月 23 日 第37回東葛飾支部消防操法大会が市川市スポーツセンター陸上競技場にて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
平成 30 年 8 月 2 日 平成30年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の合同訓練（クラブ対抗リレー・障害物競争）が浦安市で開催され、初の全国優勝を遂げた。
平成 30 年 8 月 4 日 第54回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、出場した。
平成 30 年 11 月 21 日 高規格救急自動車購入（更新）。
平成 30 年 12 月 7 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 30 年 12 月 19 日 査察広報車購入（更新）。
平成 31 年 3 月 5 日 第71回日本消防協会定例表彰式において、消防団として最高栄誉である日本消防協会「特別表彰まとい」を受章した。
平成 31 年 4 月 1 日 今川救急隊 2 隊運用開始。
令和 元年 6 月 30 日 第38回東葛飾支部消防操法大会が流山スポーツフィールドにて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
令和 元年 7 月 27 日 第55回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、優良賞を受賞した。
令和 元年 8 月 1 日 令和元年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の合同訓練（クラブ対抗リレー・障害物競争）が徳島県徳島市で開催され、全国優勝（2 連覇）を遂げた。
令和 元年 9 月 24 日 無人航空機 2 機購入（新規）。
令和 元年 10 月 1 日 浦安市消防団の再編成に伴い、消防団車両の再配置、第 1 分団・第 2 分団・第 3 分団の受け持ち区域の再編成、団員の再配置を実施した。
令和 元年 11 月 13 日 第24回全国女性消防操法大会が横浜市赤レンガ倉庫イベント広場にて開催され、優良賞（12位）を受賞した。
令和 2 年 3 月 10 日 高規格救急自動車購入（更新）。
令和 2 年 4 月 1 日 第13代角田泰紀消防長就任。
令和 2 年 10 月 20 日 高規格救急自動車購入（更新）。
令和 2 年 12 月 7 日 消防団広報車購入（新規）。
令和 3 年 1 月 20 日 水槽付消防ポンプ車購入（更新）。
令和 3 年 2 月 1 日 10市による、ちば北西部消防指令センター運用開始。
令和 4 年 1 月 27 日 救助工作車購入（更新）。
令和 4 年 2 月 17 日 資機材搬送車購入（更新）。
令和 4 年 10 月 11 日 高規格救急自動車購入（更新）。
令和 4 年 12 月 19 日 災害対応特殊消防ポンプ自動車購入（更新）。

令和 5 年 3 月 16 日 指揮統制車購入（更新）。

令和 5 年 4 月 1 日 第14代高梨俊治消防長就任。

令和 5 年 4 月 1 日 消防職員の条例定数を220名に改正し、実員200名で運用開始。

令和 5 年 6 月 12 日 支援車購入（新規）。

令和 5 年 6 月 25 日 第42回東葛飾支部消防操法大会が松戸市ロジスティード株式会社敷地内にて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

令和 5 年 7 月 22 日 第59回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、出場した。

令和 6 年 4 月 1 日 消防本部・消防署設立50周年。

令和 6 年 4 月 1 日 日勤救急隊導入。

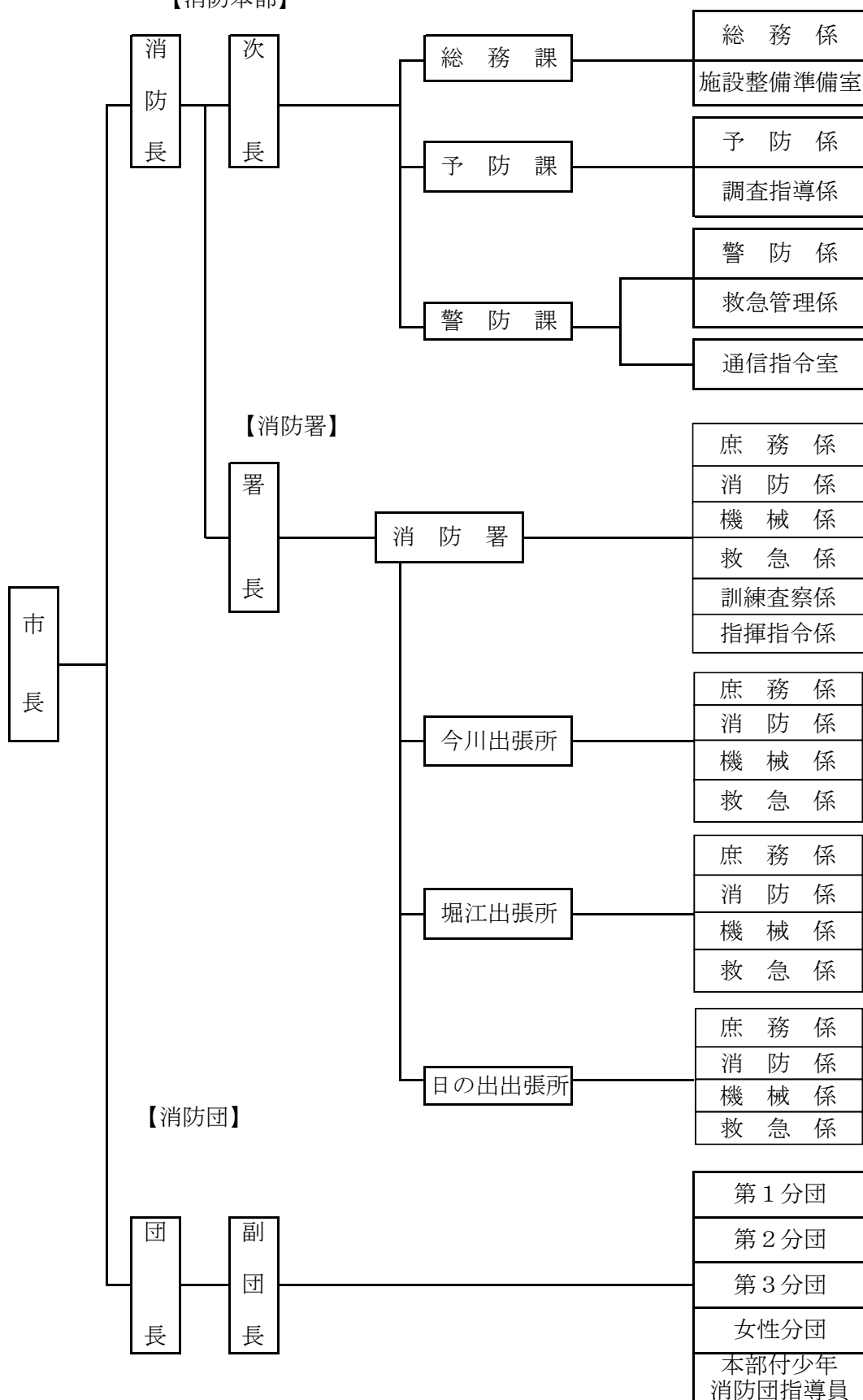
令和 6 年 6 月 30 日 第43回東葛飾支部消防操法大会が野田市駒崎興業スポーツパークにて開催され、ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。

令和 6 年 11 月 6 日 高規格救急自動車購入（更新）。

2 消 防 機 構

〔1〕 消防組織

【消防本部】



〔2〕 消防施設配置図及び状況



No.	施設名・所属	所在地	建築年月日	建築構造	延床面積	敷地面積
①	浦安市消防庁舎 消防本部・消防署 消防団本部	浦安市猫実一丁目 19番22号	H20. 9. 30	鉄筋コンクリート 造 4 階建一部鉄骨 造免震構造	5,796.63㎡	4,789.44㎡
②	消防署 今川出張所	浦安市今川四丁目 11番 1 号	S54. 2. 28 増築 S63. 12. 20	鉄筋コンクリート 造 2 階建一部平屋 建	623.00㎡	1,880.00㎡
③	消防署 堀江出張所	浦安市堀江四丁目 18番 6 号	S63. 3. 20	鉄筋コンクリート 造 2 階建	442.97㎡	459.00㎡
④	消防署 日の出出張所	浦安市日の出四丁目 1 番 3 号	H26. 10. 14	鉄筋コンクリート 造 2 階建	1,095.75㎡	1,799.78㎡

No.	分団		所在地	建築年月日	建築構造	延床面積	敷地面積
①	第 1 分 団	詰所	浦安市堀江二丁目 1 番 1 号	S52. 2. 28	鉄筋コンクリート 造 3 階建	439.04㎡	479.57㎡
②		器具置場	浦安市堀江四丁目 16番 1 号	H11. 3. 29	軽量鉄骨造平屋建	33.20㎡	69.98㎡
③		器具置場	浦安市富士見三丁目 1 番39号	H4. 3. 24	軽量鉄骨造平屋建	29.16㎡	101.89㎡
④	第 2 分 団	詰所	浦安市当代島二丁目 3 番19号	S50. 3. 10	鉄筋コンクリート 造 3 階建	412.30㎡	367.89㎡
⑤		器具置場	浦安市猫実三丁目 13番15号	H10. 3. 31	軽量鉄骨造平屋建	34.08㎡	57.18㎡
⑥		器具置場	浦安市北栄三丁目 20番 4 号	H4. 3. 24	軽量鉄骨造平屋建	29.16㎡	66.15㎡
⑦	第 3 分 団	詰所 (日の出出張所 内)	浦安市日の出四丁目 1 番 3 号	H26. 10. 14	鉄筋コンクリート 造 2 階建	1,095.75㎡	1,799.78㎡
⑧	女 性 分 団	詰所	浦安市猫実四丁目 18番15号	S51. 3. 10	鉄筋コンクリート 造 2 階建	212.25㎡	185.13㎡

〔3〕 消防本部事務分掌

課名	係名	事 務 分 掌
総務課	総務係	1 公印の保管に関する事。 2 文書の收受及び発送に関する事。 3 消防組織に関する事。 4 消防力の整備計画の策定に関する事。 5 財産の維持管理に関する事。 6 消防庁舎及び附属施設の維持管理に関する事。 7 予算の編成及び執行管理に関する事。 8 消防職員の任免、配置、分限、懲戒及び服務に関する事。 9 消防表彰に関する事。 10 消防職員の安全衛生に関する事。 11 消防職員の福利厚生に関する事。 12 消防職員の研修に関する事。 13 消防職員の公務災害補償に関する事。 14 消防団に関する事。 15 消防職員委員会に関する事。 16 消火器の貸出しに関する事。 17 少年消防団に関する事。 18 課の庶務に関する事。 19 その他他の課の所管に属さない事務に関する事。
	施設整備準備室	1 施設整備の計画に関する事。 2 施設整備の連絡調整に関する事。 3 その他施設整備に関する事。
予防課	予防係	1 防火思想の普及宣伝に関する事。 2 防火管理及び防災管理に関する事。 3 自衛消防隊に関する事。 4 予防査察に関する事。 5 消防音楽隊に関する事。 6 課の庶務に関する事。 7 その他予防消防に関する事。
	調査指導係	1 危険物の規制に関する事。 2 建築物の同意に関する事。 3 消防用設備等の設置及び指導に関する事。 4 浦安市火災予防条例（昭和56年条例第98号）に基づく届出（同条例第45条及び第45条の2に係るものを除く。）に関する事。 5 火災の原因及び損害の調査に関する事。 6 火災統計に関する事。 7 火災に係るり災証明に関する事。 8 浦安市防火安全協会に関する事。 9 予防課の所管に係る宅地開発事業等の個別協議に関する事。

課名	係名	事 務 分 掌
警 防 課	警 防 係	1 水火災の防御計画に関すること。 2 水火災の警報に関すること。 3 消防水利の整備に関すること。 4 消防用機器の整備計画に関すること。 5 消防用機器の維持管理に関すること。 6 災害統計に関すること。 7 安全運転管理に関すること。 8 警防課の所管に係る宅地開発事業等の個別協議に関すること。 9 課の庶務に関すること。 10 その他警防に関すること。
	救 急 管 理 係	1 救急業務の計画に関すること。 2 救急用機器の整備計画に関すること。 3 救急用機器の維持管理に関すること。 4 救急救命士に関すること。 5 応急手当の普及宣伝に関すること。 6 救急統計に関すること。 7 その他救急に関すること。
	通 信 指 令 室	1 消防通信の計画に関すること。 2 関係機関との連絡調整に関すること。 3 気象観測情報及び気象統計に関すること。 4 通信指令施設の維持管理に関すること。 5 共同指令センターに関すること。 6 その他消防通信に関すること。

〔4〕消防署事務分掌

課名	係名	事 務 分 掌
消 防 署	庶務係	1 消防庁舎の維持管理に関すること。 2 消防署の職員の勤務配置に関すること。 3 消防署の職員の服務に関すること。 4 消防署の職員の福利厚生に関すること。 5 その他他の係に属さない事務に関すること。
	消防係	1 災害出場に関すること。 2 消防水利の調査及び保全に関すること。 3 消防用機器の維持管理に関すること。 4 浦安市火災予防条例（昭和56年条例第98号）に基づく届出（同条例第45条及び第45条の2に係るものに限る。）に関すること。
	機械係	1 消防車両及び消防機械器具の保守管理に関すること。 2 安全運転管理に関すること。 3 高圧ガス製造施設の保守管理に関すること。
	救急係	1 救命処置に関すること。 2 救急用機器の維持管理に関すること。 3 応急手当の指導に関すること。
	訓練査察係	1 消防訓練に関すること。 2 予防査察に関すること。 3 火災の原因及び損害の調査に関すること。 4 火災に係るり災証明に関すること。
	指揮指令係	1 災害現場の指揮活動に関すること。 2 指揮活動の研究及び指導に関すること。

〔5〕出張所事務分掌

課名	係名	事 務 分 掌
出張所	庶務係	1 消防庁舎の維持管理に関すること。 2 出張所の職員の勤務配置に関すること。 3 出張所の職員の服務に関すること。 4 出張所の職員の福利厚生に関すること。 5 その他他の係に属さない事務に関すること。
	消防係	1 災害出場に関すること。 2 消防水利の調査及び保全に関すること。 3 消防用機器の維持管理に関すること。 4 浦安市火災予防条例（昭和56年条例第98号）に基づく届出（同条例第45条及び第45条の2に係るものに限る。）に関すること。 5 消防訓練に関すること。 6 予防査察に関すること。 7 火災の原因及び損害の調査に関すること。
	機械係	1 消防車両及び消防機械器具の保守管理に関すること。 2 安全運転管理に関すること。 3 高圧ガス製造施設の保守管理に関すること。
	救急係	1 救命処置に関すること。 2 救急用機器の維持管理に関すること。 3 応急手当の指導に関すること。

3 予 算

〔1〕 年度別市一般会計予算と消防予算

年度別 \ 区分		市一般会計予算 (千円)	消防費予算 (千円)	比率 (%)
令和3年度	当 初	68,400,000	2,281,930	3.3
	決 算	73,170,889	2,161,236	3.0
令和4年度	当 初	68,200,000	2,295,570	3.4
	決 算	68,608,108	2,201,736	3.2
令和5年度	当 初	76,100,000	2,169,000	2.9
	決 算	74,905,671	2,221,966	3.0
令和6年度	当 初	80,000,000	2,382,630	3.0
	決 算			
令和7年度	当 初	83,000,000	2,724,880	3.3
	決 算			

〔2〕 年度別消防予算に対する負担比率

(各年度4月1日現在)

年度別 \ 区分	消防予算 (円)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	負 担	
				市民1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
令和3年度	2,281,930,000	169,963	82,526	13,427	27,652
令和4年度	2,295,570,000	169,259	82,656	13,563	27,773
令和5年度	2,295,570,000	170,406	84,304	13,472	27,230
令和6年度	2,382,630,000	171,307	85,994	13,909	27,707
令和7年度	2,724,880,000	171,899	87,345	15,852	31,197

〔3〕 令和6年度の実施計画事業及び主要事業

事業名	事業内容
(仮称) 消防署舞浜出張所整備事業	(仮称) 消防署舞浜出張所の整備に向け、実施設計を行う。
消防指令業務運用事業	災害対応を円滑に行うため、ちば北西部消防指令センターの指令台と連携している機器の整備・運用を行う。
消防車両等整備事業 (高規格救急自動車)	最新の装備を備え、現在の情勢に適合する高規格救急自動車を購入し、消防署に配置する。

4 消防職員

〔1〕 職員の定数と実数

(各年度4月1日現在)

階級別 年度別	定 数	実 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
平成27年度	200	(14) 175		1	13	45	(14) 44	32	5	33	2
平成28年度	200	(15) 180		1	14	41	(15) 46	33	7	36	2
平成29年度	200	(15) 183		1	15	37	(15) 45	34	10	39	2
平成30年度	200	(9) 191		1	17	37	(9) 44	31	11	48	2
平成31年度	200	(10) 194		1	16	39	(10) 43	31	12	49	3
令和2年度	200	(6) 194		1	15	38	(6) 41	34	12	51	2
令和3年度	200	(5) 193		1	10	43	(4) 46	(1) 26	18	48	1
令和4年度	200	(5) 195	1	3	8	46	(4) 39	(1) 30	17	51	0
令和5年度	220	(7) 200	1	3	9	48	(6) 34	(1) 26	18	61	0
令和6年度	220	(7) 207	1	3	11	52	(6) 28	(1) 30	40	42	0
令和7年度	220	(7) 208	1	2	11	52	(7) 22	36	39	45	0

※1：（ ）内は、再任用短時間勤務職員の職員数について外書き

〔2〕 職員の配置

(令和7年4月1日現在)

階 級 区 分		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	合 計
消 防 本 部	消 防 長	1									1
	次 長		1								1
	総 務 課			2	2	4	1	2			11
	予 防 課			1	4	(1) 1	1	3			(1) 10
	警 防 課			2	8	(1) 2	3	2			(1) 17
	小 計	1	1	5	14	(2) 7	5	7			(2) 40
消 防 署	署 長		1								1
	消 防 署			6	22	(5) 8	15	17	21		(5) 89
	今 川 出 張 所				5	3	7	8	11		34
	堀 江 出 張 所				5	3	5	2	7		22
	日 出 出 張 所				6	1	4	5	6		22
	小 計		1	6	38	(5) 15	31	32	45		(5) 168
合 計		1	2	11	52	(7) 22	36	39	45		(7) 208

※1：（ ）内は、再任用短時間勤務職員の職員数について外書き

※2：市役所出向職員2名除く

〔3〕消防吏員の階級別平均年齢と平均勤続年数

(令和7年4月1日現在)

階 級	階 級 章	総 数	平 均 年 齢	平均勤続年数
消 防 正 監		1	59.0	39.0
消 防 監		2	58.0	37.0
消 防 司 令 長		11	57.1	36.7
消 防 司 令		52	51.8	30.5
消 防 司 令 補		(7) 22	(63.2) 45.7	(44.7) 21.9
消 防 士 長		36	33.4	12.1
消 防 副 士 長		39	26.5	6.4
消 防 士		45	23.3	1.6
合 計		(7) 208	(63.2) 42	(44.7) 23.2

※1：（ ）内は、再任用短時間勤務職員の職員数について外書き

※2：市役所出向職員2名除く

※3：再任用職員7名は消防司令補に含む

〔4〕派遣研修

区 分 \ 年 度 別		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
消 防 大 学 校	幹 部 科	1	1			1
	警 防 科					
	危 険 物 科			1		
	救 助 科				1	
	消 防 団 活 性 化 推 進 コ ー ス			1		
千 葉 県 消 防 学 校	初 任 科	4	10	12	12	14
	救 助 科	2	1	2	2	2
	火 災 調 査 科	2	1	2	1	1
	危 険 物 科				2	1
	予 防 査 察 科	2	1	2	1	1
	救 急 科	2	2	6	4	6
	訓 練 指 導 科		1	2	2	2
	中 級 幹 部 科	2	1	1	1	1
	特 殊 災 害 科	2	1	2	2	2
	はしご自動車等講習会	2	1	2	2	2
救 急 救 命 士	気 管 挿 管 認 定 救 命 士 再 教 育	2	1		1	
	新 規 養 成 （ 東 京 ）	1	1	1	1	1
	指 導 救 命 士 養 成 （ 九 州 ）					2

5 消防庁舎見学・体験コーナー利用状況

(令和6年度)

	消防庁舎等施設見学		消防防災体験コーナー
保育園・幼稚園	21件	510人	457人
小学校	20件	1,455人	1,359人
その他団体	10件	233人	233人
個人来庁	—	—	117人
合計	51件	2,198人	2,166人

消防防災体験コーナー

災害はいつ発生するか分かりません。いざという時に冷静な行動がとれるようにしましょう。このコーナーでは、地震・煙・消火・通報の4種類の体験ができます。また、マンションの防火施設の展示もあります。



地震体験

模擬的に地震と同じような揺れを起こし、揺れる中での行動の困難さを体験でき、市民の方々の防災力を高めています。過去の大きな揺れを再現することや震度7までを体感することができます。

地震を防ぐことはできませんが、地震に対する備えをすることが重要です。

119番通報体験

画面の指示に従い、119番通報の体験ができます。落ち着いて連絡しましょう。



消火体験

訓練用の消火器を使用し、消火の訓練を行います。ポイントは火の根元をホウキで掃くように消火することです。



展示コーナー

防災袋の中身、マンションの防火施設等が展示されています。



煙体験

訓練用のスモークが充満した通路を脱出する体験ができます。布で口を覆い姿勢を低くして壁伝いに脱出しましょう。

6 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(令和7年4月1日現在)

種 別	署 所	指 揮 車	自 消 防 動 ポ ン プ 車	は し ご 自 動 車	救 助 工 作 車	救 急 自 動 車	特 殊 車 等	消 防 職 員
整備指針等 注1	6	1	9	2	1	7	6	220
現 有	4	1	6	2 注2	1	7	6	215
充 足 率 (%)	67	100	67	100	100	100	100	98

注1：整備指針等とは、車両については消防力の整備指針に基づいた本市の算定数、
消防職員については条例に基づく定数

注2：消防ポンプ自動車に、はしごの機能を有する車両1台を含む